

西桂町

VOL.
70

議会だより



町民とともに明日の西桂をつくります

平成23年 4月30日就任、西桂町議会議員一同

正副議長就任あいさつ、 町議会議員抱負を語る 2、3

- 7月臨時議会 石田町長あいさつ 4
- 一般質問（郷田議員） 10、11
 - ・大規模自然災害への対策は ・高齢者介護への環境整備は
- 世界にひとつだけの自分の句を！（文化協会俳句部）... 15
- 3月定例会概要 6～9

議会の構成が決まりました

議長に郷田和美氏、副議長に渡邊眞弓氏を選出

5月臨時会は平成23年5月11日に招集され、同日に本会議、各委員会が開催され、1日間の会期をもって、同日閉会しました。町長より報告事項5件、補正予算1件、同意1件が提案され、全員賛成にて原案のとおり、承認、可決、同意されました。また、正副議長をはじめとする各種役職の選挙及び選任が行われました。

議長就任あいさつ

総合的な長期展望に立った施策を推進



議長 郷田 和美

私は、5月11日の臨時会において、議員の皆様方のご推挙により、議長の職に就かせていただき、誠に身に余る光栄であります。

現在、わが国の景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況が続いております。

電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響に加え、海外経済の回復がさらに緩やかになること等により、景気が下振れするリスクが存在

しております。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要です。

当町におきましても独創性をもった総合的な長期展望に立った施策の展開が必要とされており、地域住民の代表である議会に対する期待は大きく、果たすべき役割が飛躍的に拡大してきております。

こうした時に議長という要職にご選任をいただき、私は、もとより浅学非才ではございますが、町の発展と町民福祉の推進に誠心誠意努力いたす覚悟でございます。

町民各位の温かいご支援ご指導を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

副議長就任あいさつ

公正な議会運営に誠心誠意努力



副議長 渡邊 眞弓

私は5月11日の臨時議会におきまして議員の皆様方のご推挙をいただき副議長に就任いたしました。新米議員でありながら、混迷した時代の町政に携わる重責に私自身、身の引き締まる思いであります。

議長に就任されました郷田和美氏には人柄もよく、人格見識共に優れ、実行力を兼ね備えており、町政発展のために公平な議会運営を発揮されることと存じます。

私は議長を補佐し民主的で円滑公正な議会が運営されますよう誠心誠意努力をいたす所存です。

また、地域議会運営に携わる一員として、現状の地域経済や社会情勢の動向には危惧しております。

町民の皆様全員が小さな幸せに気付く心を育み笑顔あふれる、暮らしやすい西桂町を目指して、一町民としての目線を忘れる事なく、全力を挙げて職務に取り組んでまいりたいと考えております。

町民みなさまの温かいご支援、ご協力賜りますよう心からお願ひ申し上げますとともに、皆様のご多幸を祈念し就任の挨拶とさせていただきます。

町議会議員 抱負を語る

町民の皆様とともに、住んで良かったと思える町づくりを

東日本大震災の惨状を知り、「支えあい、助けあい、ふれあい」の大切さを痛感しました。
住民の全てが、安心安全を感じられる町、地域づくりの為、教育、福祉子育て支援の推進に努め、皆様と共に優しい町づくりを目指します。



鈴木孝子 議員

少子高齢化の進む中、町民相互で助け合い、支え合う町づくりを基本に、この町に生まれ、育って良かったと言われるような、活気ある住みやすい町づくりを目標とし、地域住民の代弁者として、行政への太いパイプ役を、行っていく所存です。



高尾由也 議員

私は、前期の経験を生かし、初心を忘れる事なく住民の皆様の声を結集し、支え合う地域社会の実現、安心して住める・住み続けたいと思える町。また、住民主役の町づくりの実践に努め、未来の明るい夢のある町の為、日々努力していきます。



佐藤勝男 議員

私は趣味で近代大衆児童文学各作家の自筆物、本などを収集し、様々な方と接しております。
これらの活動を通して、町民の皆様の為の政治が強く求められている今、これから4年間、町政発展のため粉骨砕身努力してまいります。



瀧口幸男 議員

平成23年度は緊縮型の予算編成となっておりませんが、限られた予算の中で本町の発展と町民福祉の向上のため、誠心誠意努力してまいりる所存であります。



滝口新一郎 議員

私は、資質の高揚に努め、常に意識改革に取り組んでいく所存です。
それには町民の目線に立った議会運営に努め、何が出来るか、出来ないかでなく、やるか、やらないかでありますので、一町民として共に支え合って歩んでまいります。



前田親保 議員

わが国の景気は、東日本大震災の影響により厳しい状況が続いており、町においても税収の落ち込み等により、極めて厳しい財政状況であります。気を緩めることなく町民福祉向上のため行財政改革に励み健全な財政運営に努めてまいります。



石原 滋 議員

私は、「公平・公正・不偏」を信条として、議員活動に邁進してまいります。また、多様化する住民ニーズに対応しつつ明るい町づくりを進めると共に、住民皆様方がこの西桂町に住んで本当に良かったと思う町を目指して活動してまいります。



渡辺 隆 議員

石田壽一町長
就任あいさつ

皆様と対話し、誠心誠意努め 活力あふれる支え合いのあるまちへ



7月臨時議会

7月臨時会は平成23年7月21日に招集され、同日に本会議、総務委員会が開催され、1日間の会期をもって、同日閉会しました。町長より条例改正1件、補正予算1件、同意1件が提案され、条例改正及び補正予算は全員賛成にて原案のとおり可決されました。また、同意案件は、総務委員会より申出があり、継続審査となりました。



私は、このたび第42代町長としての大任を担うこととなりました。これから「活力あふれる支え合いのあるまちづくり」を目標に、公明公平な町政を、町民の皆様へ奉仕する立場で誠心誠意努めていく所存です。

議員の皆様とは、ともに町民の皆様への負託を受けた者として、町のより良い発展のため、緊密に連携、協力をし、町政を進めていきたいと考えていますので、議員の皆様のご理解、ご協力を心からお願いたします。

私が町政に取り組む姿勢は次の点にあります。

第一に、出来るだけ情報公開を進め、ガラス張りの公明公平な町政を進めることです。町の行政が行っていることが町民に分かるようにするため、情報を積極的に発信してまいります。

第二に町民の声をしっかりと聞き、目標に向かって、町民の皆様とともに町を良くするために努力することです。町民の皆様との対話集会を定期的に行い、意見を伺っていきたく考えています。

今年度は、第5次長期総合計画を実行に移していく初年度です。この計画を考慮しながら、「健全財政の堅持」、「教育・子育て環境の充実」、「健康長寿の町づくり」、「より強い防災体制」、「自然と調和したよりエコな町づくり」などの公約の実現を図っていく所存です。

大きな予算を伴うものや、調査等が必要なものは今しばらく時間をいただき、具体化を図っていきます。速やかに対応できるものは、積極的に推進してまいります。

公約の給与、期末手当の10%減額については、特別職等の報酬等審議会に諮らねばならない関係上、9月定例町議会に提案し10月より実施を予定しています。

今、西桂町長という立場にたち、町のため、町民の皆様のために働きたい、誠心誠意奉仕したいと考えています。町長をはじめ町の職員は、町のために思い、町民の皆様のために思い行動するようにしていきたいと考えています。役場など町の施設が、訪れた来客や町民が「幸せな」気持ちになり「よかった」と感じられるような場所になるよう職員一同努力する所存です。

西桂町議会構成一覧表

議 長 郷田 和美

副議長 渡邊 眞弓

総務常任委員会

委 員 長 鈴木孝子
副委員長 瀧口幸男
委 員 石原 滋・郷田和美・滝口新一郎
佐藤勝男・渡辺 隆・渡邊眞弓
前田親保・高尾由也

総務、企画振興、住民福祉関係の調査・議案
審査・請願陳情審査を行う。

建設文教常任委員会

委 員 長 佐藤勝男
副委員長 高尾由也
委 員 石原 滋・郷田和美・滝口新一郎
鈴木孝子・渡辺 隆・渡邊眞弓
前田親保・瀧口幸男

建設、上下水道、教育関係の調査・議案審査・
請願陳情審査を行う。

議会運営委員会

委 員 長 石原 滋
副委員長 滝口新一郎
委 員 鈴木孝子・佐藤勝男・瀧口幸男

議会の運営・議会の会議規則、委員会に関する
条例等、議長の諮問に関する調査及び議案、
陳情等の審査を行う。

議会広報編集委員会

委 員 長 前田親保
副委員長 渡辺 隆
委 員 鈴木孝子・佐藤勝男・滝口新一郎

議会広報の掲載記事の作成、編集を担当し、
年4回の発行を行う。

西桂町消防委員会委員 滝口新一郎・佐藤勝男
富士五湖広域行政事務組合議会議員 渡辺 隆・高尾由也
山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員 滝口新一郎
西桂町監査委員 渡辺 隆

議場紹介

傍聴
してみませんか



議場は町民に開かれています。町議会の活動の場「議場」は
役場3階にあります。

本会議の開催されている日に先着順に受け付けをしますの
で、受付簿へ住所・氏名を記入するだけで、傍聴できます。

傍 聴 席

(平成23年8月1日現在)

9番議員 郷田和美
10番議員 石原 滋

1番議員 高尾由也
2番議員 瀧口幸男

3番議員 前田親保
4番議員 渡邊眞弓
5番議員 渡辺 隆
6番議員 鈴木孝子

7番議員 佐藤勝男
8番議員 滝口新一郎

演 壇

教育次長 渡辺幸彦
教育長 川村奇子郎
産業振興課長 川村達彦
建設水道課長 前田宗重

町 長 石田壽一
総務課長 藤江栄一
会計管理者 滝口武司
税務住民課長 奈良 護
福祉保健課長 今泉守夫

議 長 席 議会事務局長 堀内達也

性化事業へ重点配分

一般会計予算
賛成討論



鈴木孝子 議員

第5次長期総合計画の 好スタートを望む

あり、前年度当初予算と比較して3千39万2千円の増額、率にして1・6%の増となっている。

先日の東日本大震災、或いは、それを発端とする原発事故により、株価もリーマン・ショックに次ぐ歴代3番目の下げ幅を記録し、日本経済の先行きは暗たんたるものとなってきた。地方においても、この震災の影響は

歳入では、町税の減額があるものの、公共施設整備基金等の繰入金1億4千895万3千円を計上し所要の財源確保を図る一方、町債については前年度当初予算と比較して58・1%の減と、臨時財政対策債の借入れだけにとどめ、健全な財政運営に資する歳入予算となっている。

すさまじく、計画停電や生活物資の不足など住民生活に多大な打撃を与え、地域経済の今後の先行きにも、危機感を強くしているところである。

歳出では、議員年金制度廃止に伴う負担金や住基法改正によるシステム保守経費といった新たな義務的な経費が追加される厳しい状況の中において、

そのような状況下に編成された平成23年度一般会計当初予算は、総額18億8千925万3千円で

子ども医療費助成事業や子宮頸がん予防ワクチン助成事業といった主に子どもたちを対象とした事業

業や、緊急雇用創出事業を活用した三ツ峠登山道や倉見山遊歩道の整備事業といった地域活性化につながる事業等をそれぞれ継続的に実施され、町の活性化に向け、たゆまぬ努力を進めていく姿勢の伺える歳出予算となっている。

また、「西桂町第5次長期総合計画」の基本構想に基づき、今後10年の間、様々な事業が実施されることとなるが、平成23年度はそのスタートにあたる重要な年となることから、一般会計予算の執行にあたっては、慎重に取り組まれ、町民の福祉の向上のため、なお一層の努力を願う。

3月定例会

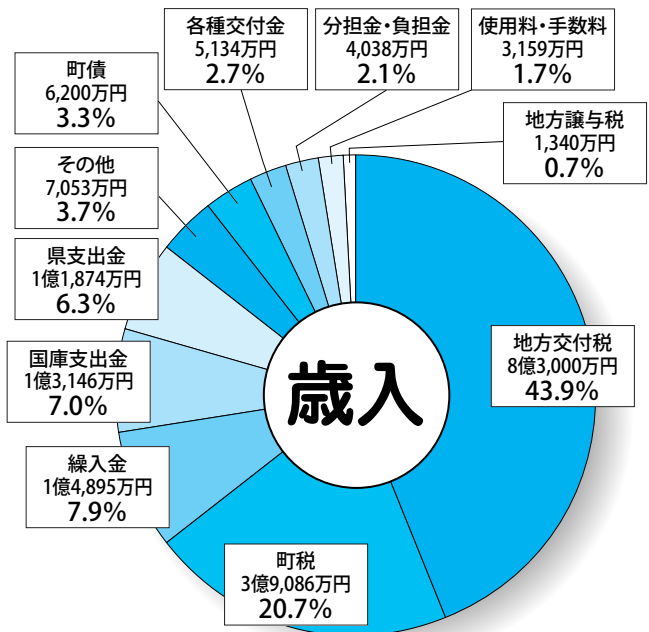
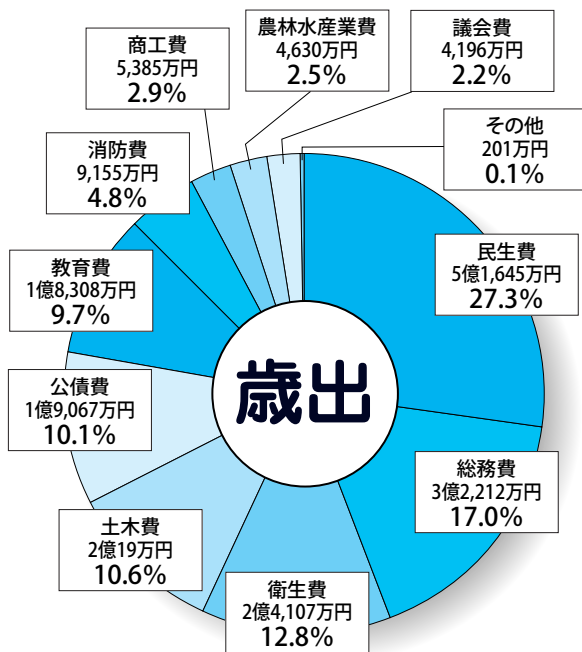
3月定例会は平成23年3月4日に招集され、同日に本会議、この後会期中に、各委員会、本会議が開催され、15日間の会期をもって、18日に閉会しました。町長より条例5件、議決議案2件、当初予算7件、補正予算8件、議員より議員発議2件が提案され、全ての議案が全員賛成にて原案のとおり可決されました。



永田総合計画審議会議長より町長へ答申

限られた予算の中で 子育て支援、地域活

一般会計予算 18 億 8,925 万円の主な内訳



■基金（貯金）残高 14 億 8,017 万円
町民 1 人当たり〔約 31 万円〕

■地方債（借金）残高 21 億 9,804 万円
町民 1 人当たり〔約 46 万円〕

※左記の額は一般会計のものです。

※〔 〕内はH23 年 3 月末現在人口で割った一人当たり額
※地方債（借金）残高には、交付税算入基礎額として後年度に国が負担してくれる額が含まれているため、全てが借金とはなりません。

一般会計の主要事業及び主な新規事業

- 戸籍総合システム整備事業（新規） 17,346 千円
- 乳幼児・子ども医療費助成事業（継続） 14,228 千円
- 遊休農地解消事業（継続） 11,156 千円
- 三ツ峠登山道、倉見山遊歩道等整備事業（継続） 13,019 千円
- 橋りょう長寿命化計画策定事業（継続） 3,392 千円

当初予算

納税組合補助金 平成23年度交付にて終了



みんなでお花見～いきいき交流会

徴税事務

問 法人税の増額根拠と、法人数の現状は。

税務住民課長 平成22年度実績見込みに基づき積算、法人数は111社で積算した。

問 納税組合事務費補助金は平成22年度で終了か、また存続する組合の数はいくつか。

税務住民課長 平成22年

度の実績をもって平成23年度に交付し終了する。組合数は現時点で15組合である。

遊休農地解消

意見 遊休農地解消により耕作可能となった土地の活用を努力を願う。

予防接種

意見 ヒブワクチンを接種された町民に対しての

事後指導に万全を期すことを要望する。

社会福祉協議会

問 社会福祉協議会の運営が軌道にのっている中で将来の展望は。

町長 町からの局長派遣を廃止し、局長相当職を社協で任用してもらうことを検討する。

し尿処理

問 下水道事業が進捗する中で、し尿処理場運営負担金下がらないのは、**産業振興課長** 構成市町村の処理量も下がっているためである。

防災対策

意見 戸別受信機の老朽化が進んでいるため交換等の対応強化を求める。

国民健康保険

問 山梨県下での国民健康保険税の現状と今後の取り組みは。

税務住民課長 税率は県下で中位ぐらい、医療費の動向によって平成23年

度税率改正も検討する。

介護保険

問 小規模介護施設整備の取り組みは。

福祉保健課長 経営上の問題や許認可の問題から町単独では難しいため、近隣市等と相互に協定を結び取り組む。

簡易水道

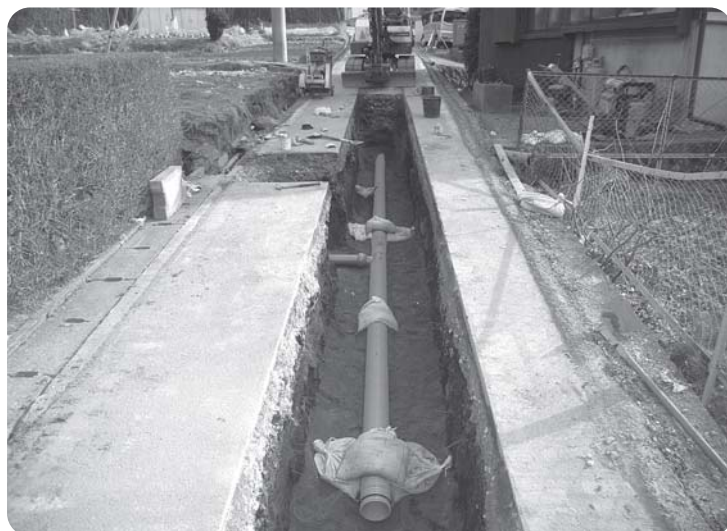
意見 豊富な水量を有効

下水道

問 下水道事業の進捗率と接続率は。

建設水道課長 町全体の整備率は47・4%、水洗化率は70・3%である。

意見 公平性の観点から接続率100%を目指して努力を要望する。



順調に進む倉見区内の下水道工事

補正予算

一般会計補正予算

問 特別交付税の状況は。

総務課長 現時点では不明なため金額により専決処分等に対応したい。

※その後、特別交付税は当初予算より3千843万9千円の増額決定があり、3月末日に専決処分を行い、5月臨時会にて承認となりました。

国民健康保険補正予算

問 医療費の急増に對しての取り組みは。

税務住民課長 国保税率改正による歳入強化、また、医療費抑制のために適正な受診指導と健診受診率の向上に努力する。

意見 啓発を行い、多くの方が受診するよう事業推進を願う。

介護保険補正予算

問 施設介護希望者の状況は。

福祉保健課長 平成22年4月現在の調査で27名の方が待機している状況で



ご自身のために、町のために受診しましょう

平成23年度 各会計当初予算

賛成全員

会 計	予 算 総 額	前年との比較
一 般 会 計	18億8千925万円	3千039万円
国民健康保険特別会計	4億3千626万円	△1千232万円
後期高齢者医療特別会計	7千234万円	209万円
介護保険特別会計	2億5千109万円	1千140万円
介護予防支援事業特別会計	81万円	△21万円
簡易水道特別会計	6千090万円	△507万円
下水道特別会計	1億8千465万円	△265万円

※老人保健法特別会計は後期高齢者医療制度の移行により廃止となりました。

平成22年度3月 各会計補正予算

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	2千330万円	19億9千306万円
国民健康保険特別会計	△1千644万円	4億8千196万円
老人保健法特別会計	80万円	693万円
後期高齢者医療特別会計	△77万円	6千948万円
介護保険特別会計	1千724万円	2億5千935万円
介護予防支援事業特別会計	△35万円	67万円
簡易水道特別会計	△178万円	7千070万円
下水道特別会計	△1千490万円	1億7千235万円

主な議決議案

賛成全員

西桂町第5次長期総合計画基本構想の策定

将来の西桂町を創る基本的な考え方として、まちづくりの理念を「豊かな心を育む人づくり」・「地域の魅力が輝くまちづくり」・「参画と協働によるまちづくり」として定めるとともに、「人が輝く、地域が輝くまち にしかつら」を町の将来像に掲げる基本構想を議決しました。

この基本構想は、町民アンケート調査・5地区及び各種団体との懇談会・パブリックコメントなどを実施し、町民の方々の意見を伺うとともに、町議会議員5名も参画する総合計画審議会での活発な議論を経て、本定例会にて提案されてきたものです。

問 待機者への対策は。
福祉保健課長 広域施設増設は実数を積み上げて県へ要望し、町としては

ある。
在宅サービスの充実に向
け努力をする。



郷田和美 議員

へづくりまち強いに

問

大規模自然災害への対策は

答

地域防災の充実に取り組む

問

東日本大震災をうけ、いよいよ切迫性が指摘されてきた大規模自然災害に対する取組みの点検と強化策は。また、今回甚大な被害を受けた地域への応援体制は。

町長

今後予想される東海地震については、県や近隣市町村で構成する4つの協議会にて、これまでも災害時の相互応援協定や関係機関等への防災対策の要望、富士山火山防災避難マップの策定などを実施してきた。昨年末には、管内のホームセンターなどと有事の際に優先的に物資の供給を要請することができると協定の締結もしている。



震災発生後、ただちに設置された災害警戒本部



防災無線室に設置されたJアラートシステム

住民に対する防災情報の受伝達については3月末には「Jアラート」の整備が完了し、さらに緊急時の避難場所としての小中学校体育館を活用した避難所体験訓練なども視野に検討していく。

町民に対する防災情報の受伝達については3月末には「Jアラート」の整備が完了し、さらに緊急時の避難場所としての小中学校体育館を活用した避難所体験訓練なども視野に検討していく。

町の危険箇所のパトロールなどを実施し、特に下暮地区区柄杓流川流域は、大きな流域面積であることから、県において、平成20年には大根田沢の砂防工事を、現在は宮作沢の砂防工事が実施され

また、被災地への支援物資は、今後、山梨県や日赤等から援助物資要請があった場合には速やかに対応したいと考えている。義援金については、社会福祉協議会において既に実施をしている。

東日本大震災をうけ災害

問

高齢者介護への環境整備は

答

在宅サービス優先を推進

問

在宅・施設の両方のサービスバランスよく整備させ、高齢者が安心してサービスを受けられる環境作りは、どこ

の自治体にとっても重要な課題となっている。今後の高齢者介護への基本的な取り組みについての考えは。

町長 高齢者が生きがいを持って自立した在宅生活を長く続けられるように、行政として支援することが最も重要であると考えている。このため

に、介護予防事業として、全地区で実施している日中独居高齢者向けいきいき交流会活動事業、毎週実施している一般高齢者



楽しい集いの場となっているいきいき交流会

向け運動教室、健診等により介護予防が必要とされる高齢者向け通所型介護予防教室を展開している。

また、介護保険事業では在宅サービス優先の原則に基づき、在宅サービスの提供の担い手は民間事業所に委ねられている



活気あふれる「元気はつらつ運動教室」

ため、提供事業所に対する必要な指導、支援、情報提供を県と一体となって強化していく。在宅で生活を続けることが困難な重度の要介護状態の高齢者向けの施設サービスについては、入所困難な状況が続いているため、希望者に対し早めの入所申込みや短期入所施設の利用をすすめている。

今後は、65歳以上の全

高齢者に対しニーズ調査を実施し、必要なサービスの把握に努め、国・県と一体となって策定する第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に、必要量の確保のための方策を盛り込み、サービス提供事業所の誘致を近隣市町村との連携を図る中、県下全体で取り組んでいく。

6月定例会

6月定例会は平成23年6月3日に招集され、同日に本会議、この後会期中に、各委員会、本会議が開催され、7日間の会期をもって、9日に閉会しました。町長より条例改正3件、補正予算2件、同意1件提案され、全ての議案が全員賛成にて原案のとおり可決、同意されました。

国保税率改正 滞納者対策と 医療費削減に努力を

国民健康保険税条例

問 医療費の削減に向け、多受診世帯への訪問指導等の状況は。

税務住民課長 高齢者の

方々が公民館等を利用してお集まりの際、保健師が訪問し血圧測定や健康相談等を実施している。

福祉保健課長 訪問指導

ではないが、医療費の抑制という点では、健康教室の実施や、国の指導に基づき、保険証交付の際、ゼネリック医薬品の積極的な勧奨を行っている。

意見 国民健康保険税の

税率改正については、国保運営協議会の中でも協議され、税率を上げるのも平成22年度の国保財政状況からややむをえないものと思っているが、税率改正によって、滞納者が増加することの無いよう取り組まれない。

一般会計補正予算

問 子宮頸がん予防ワクチン接種事業を継続実施するのか。

賛成全員

5月臨時・補正予算

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	7 3 6 万円	1 8 億 9 千 6 6 1 万円

補正予算(歳出)の主な概要

一般会計補正予算(第1号)	○災害関連経費(発電器整備)の追加	3 3 8 万円
	○小学校施設管理事業費(震災被害関連)の追加	3 9 8 万円

補正予算(歳入)の主な内容 繰越金 7 3 6 万円

賛成全員

6月定例・補正予算

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	△ 5 2 万円	1 8 億 9 千 6 0 9 万円
国民健康保険特別会計	5 4 4 万円	4 億 4 千 1 7 0 万円

補正予算(歳出)の主な概要

一般会計補正予算(第2号)	○体育施設管理事業費(節電対策による)の削減	△ 1 1 4 万円
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○保険給付費の追加	5 4 4 万円

補正予算(歳入)の主な内容 国民健康保険特別特別会計 国民健康保険税 5 6 3 万円

賛成全員

6月定例・主な条例改正

国民健康保険税条例の一部改正	国保の健全財政維持と税の平準化のための税率改正 ・医療給付分の所得割額を5.0%から5.5%へ改正 ・介護納付金分の所得割額を1.0%から1.2%へ改正
----------------	--

賛成全員

7月臨時・補正予算

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	5 1 万円	1 8 億 9 千 6 6 0 万円

補正予算(歳出)の主な概要

一般会計補正予算(第3号)	○地域子育て創生事業経費の追加	3 7 万円
---------------	-----------------	--------

町長

接種者に対する感染予防率が73・1%と、非常に効果の高い予防接種であるため、継続して取り組んでいく。

意見

この制度は自発的な接種となっているため、

できるだけ多くの機会をもって、子どもたちやその保護者に本予防接種の重要性を周知願う。

福祉保健課長

子宮頸がん予防のためのワクチン接種の周知については、

近隣市町村や医師会とも相談し進めていて、その中で、対象者全員に通知をもって、子宮頸がんの

恐ろしさや、発症経過、予防方法をお知らせすることが決定している。当町

では、通知ではなく、直接対象者とその保護者に説明を行い啓発できるように検討中である。

意見

できるだけ効果があがるように取り組まれない。

4年間 ご苦労様でした

4年間ご苦労様でした



退任された前町議会議員の皆さん



退任議員さんに感謝状が手渡されました

平成 19 年 4 月 30 日就任、同年 5 月 10 日開催の 5 月臨時会から議会活動が始まり、平成 23 年 3 月 18 日開催の 3 月定例会最終日で本会議は全て終了、同年 4 月 29 日をもって任期満了となりました。

足掛け 4 年にわたる議会活動大変ご苦労様でした。任期満了された各位の功績をたたえ、5 月 2 日に町主催の感謝状贈呈式が開催されました。

退任された
議員の皆さん

相澤 力造
渡辺 隆
鈴木 孝子
佐藤 勝男
郷田 和美
渡辺 正一
滝口 新一朗
宮下 友義
石原 滋
(議席順・敬称略)

勝俣照雄議員ご逝去

ご冥福をお祈り
いたします。



去る平成 23 年 1 月 24 日、町議会議員の勝俣照雄氏が、ご逝去されました。

氏は、平成 11 年 4 月に初当選されて以来、連続三期 11 年の長きにわたり、西桂町議会議員として、町政の発展に尽くしてこられました。

この間、町議会副議長、常任委員長等多くの重責を担われ、これから益々、町民のため議員として卓越した手腕を発揮されようと期待されていた矢先の訃報であります。

氏の公共の福祉に献身された尊い御遺志を偲びつつ、心よりご冥福をお祈りいたします。

みんなの声

西桂町議会では、議会だよりを通じて町議会や町に望むこと、議会だよりを読んだ感想などを募集しています。

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

議会だよりの私達に(町民に)対して町政町内のでき事という情報げんです故今後共よりいご活躍下さる様お願い致します

※ 広報コンクール特選・入選おめでとうござります。

西桂町議会だより、県下一番、読みやす、写真、それを読ませていたたいては私たちが幸せです

※ 以前も暮らしたか町内の火事の時になぜ本部のサイレンが鳴らなかつたのか？吉田の方面から消防車が来るのに不思議です。

平成23年の第1号らしく内容が充実していたと思いつ、住宅用火災警報器も設置しなけりばいけないことは解っているが高齢者世帯のため設置が難しい、町でなんとかしてほしい、火災担当の警防団でやってもらえるよう依頼してほしい。

倉見山に登ってきました。途中、何箇所か登山道を示す目印や、登山道が整備されており、道に迷うことなく登ることができました。ちょっとハードでしたが、地元にいながら初めての倉見山の登山を満喫できました。

みんなの声

プレゼントクイズ

クイズ正解者のうち抽選で10名の方に、町の特産品をプレゼントします。

問題：3月定例会で議決された西桂町第5次長期総合計画における町の将来像は？

答え

- ① 水と織物の里 にしかつら
- ② 人が輝く、地域が輝くまち にしかつら
- ③ 小さくてもみんなで頑張る にしかつら

応募方法：①～③の答えの数字と住所、氏名、電話番号、議会だよりを読んだご意見ご感想を書いて、はがき、FAX、E-Mailにてご応募ください。

締切は10月7日（当日消印有効）です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

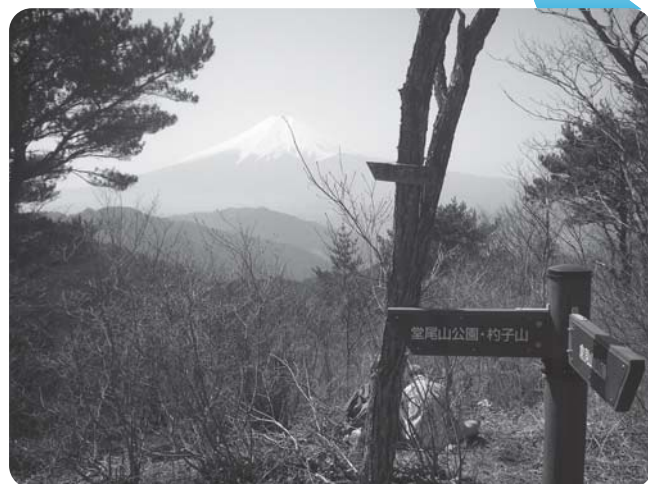
〒403-0022 西桂町小沼1501-1

西桂町議会広報編集委員会

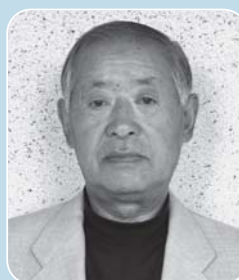
TEL 0555-25-2121 FAX 0555-20-2015

E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

写真募集中 採用された方には記念品を贈呈



倉見山山頂にも設置されている案内板



渡邊英一郎 委員

公平委員会委員の選任に
同意
(全員同意)

6月定例会
人事案件



訪問先
文化協会俳句部
代表 小林傑子さん



文化協会俳句部の皆さんと

〔取材 前田・渡辺隆〕

問 会員の人数は。
小林さん 24名です。

問 活動目的と内容は。
小林さん 町の文化祭や県の俳句大会等、年5回ほどの大会に出展するほか、毎月第4水曜日(午後7時半)にYLO会館にて定期的に活動を行っています。

皆さん 楽しい反面、苦しいこともあります。世界にひとつだけの自分の句ができたときは、とても心うれしくなります。

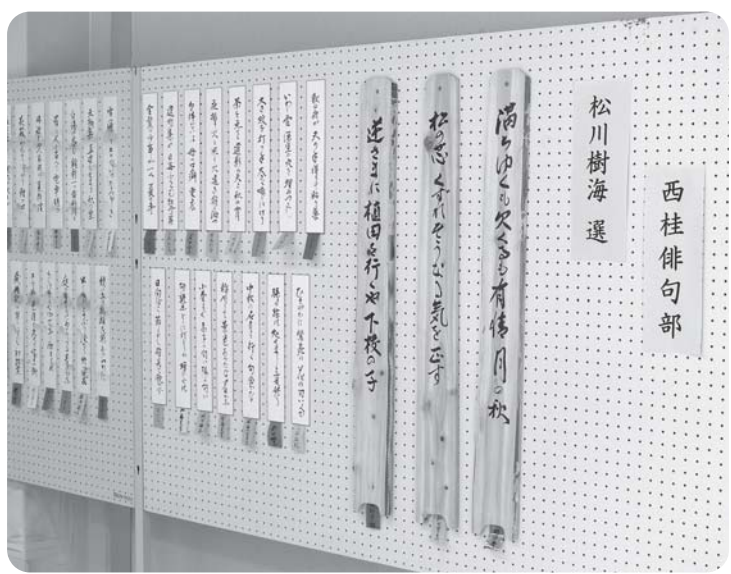
17文字に思いを込めるのが難しいですが、時には宇宙を創造することもできるのが楽しいです。

問 何か望むことは。
小林さん 町民の方が一人でも多くこの会へ入って俳句を楽しんでいただければと思います。

樹海先生 西桂町は俳句を親しむ方が多いですし、過去には、桂川公園付近で立派な句が読まれた土地柄もあり、その場所に句碑が建てば、なお俳句文化が盛り上がっていくと思います。



熱心に指導してくださる松川樹海先生



秀作がならぶ町民文化祭俳句大会



**次の定例会は9月です。
傍聴してみませんか。**

議会だよりや議会全般、町行政についてのご質問・ご意見・ご感想をお待ちしています。寄せられましたご質問・ご意見等には議会広報編集委員が責任を持ってお答えいたしますので、下記までお寄せください。

〒403-0022 西桂町議会広報編集委員会
TEL 0555-25-2121 FAX 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp





西桂 フードギャラリー

県道富士吉田西桂線上町区間議員視察（3月定例会）



文化協会俳句部町外研修



三ツ峠グリーンセンター議員視察
（3月定例会）



県道富士吉田西桂線橋りょう設置工事



編集委員長 前田 親保
副委員長 渡辺 隆
委員 鈴木 孝子
委員 佐藤 勝男
委員 滝口 新一朗

議会だよりは、議会の審議内容等をわかりやすく町民の皆様にお伝えするものでありますので、皆様のご意見、ご感想をお寄せいただければと思います。
（委員長）

暑さ厳しい折り町民の皆様には健康で清々しくお過ごしのこととお喜び申し上げます。
今号より、新しい議会広報編集委員により、編集活動を継続推進することになりました。前号まで町議会だより発行にご尽力くださった編集委員の皆様には心より敬意と感謝を申し上げます。今日まで諸先輩が築き上げてきてくれた素晴らしい議会だよりを、今後さらに、愛読親しまれる広報誌となるよう努力してまいります。

